

緊急帝王切開、30分ルール、新生児合併症1

産婦人科医療において、患者のニーズに応じて最新の医療の基準を維持することは大変な仕事である。急速遂娩が必要となる際に、意思決定から30分以内の帝王切開の執刀が求められるかは不明である。本号でWeinerらは、帝王切開までの時間を短縮したところ、新生児の有害事象が減少したと報告している。母体の臨床結果に差は認められなかったが、新生児に関わるパラメーターに顕著な改善が認められている。胎児心拍異常に限って意思決定から分娩までの長さや新生児の臨床結果との関係を示唆した初めての報告である。Weinerらの研究において、明示されていないいくつかの問題について考えてみる必要がある。意思決定から分娩までの時間を短縮することがどのような良好な結果をもたらすか多面的に検討してみる必要がある。

The 30-minute standard: how fast is fast enough?

Michael P. Nageotte

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):177-178

【文献番号】 o06400 (帝王切開、合併症、VBAC、試験分娩、リスク因子、子宮破裂、子宮摘出)

帝王切開、適応、初回帝王切開、非医学的適応、難産2

母児のリスクの低下をもたらすという明らかな根拠が得られないままに帝王切開率は急激に上昇した難産の定義の変更、胎児心拍異常の解釈や管理の改善、分娩中の非医学的支援、骨盤位に対する外回転、1児が頭位の双胎妊娠の試験分娩なども初回帝王切開率を低下させる上で有用と考えられている。

Safe prevention of the primary cesarean delivery

American College of Obstetricians and Gynecologists (the College) and the Society for Maternal-Fetal Medicine, Aaron B.

Caughy, Alison G. Cahill, Jeanne-Marie Guise, Dwight J. Rouse

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):179-193

【文献番号】 o06400 (帝王切開、合併症、VBAC、試験分娩、リスク因子、子宮破裂、子宮摘出)

頸管処置、IUD、疼痛、未産婦6

未産婦の女性においてIUDを挿入する際にmisoprostolを使用したとしても疼痛を軽減させることはできず、また挿入が容易にならなかった。大部分の女性は疼痛を軽減するための薬剤を投与し待期してもよいと考えており、IUDを挿入する際の疼痛のコントロールに有効な代替となる方法について考えてみる必要がある。

Misoprostol for intrauterine device insertion in nulliparous women: a randomized controlled trial

Eve Espey, Rameet H. Singh, Lawrence Leeman, Tony Ogburn, Kylie Fowler, Heather Greene

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):208.e1-208.e5

【文献番号】 r12200 (避妊、経口避妊薬、妊娠中絶、IUD、IUS、人口問題、リスク因子、スクリーニング)

複合的ホルモン避妊法、内科的禁忌8

複合ホルモン避妊に関する内科的禁忌を有するものの割合は、調査の対象となった大規模な生殖年齢の女性においてきわめて低いという結果が得られた。このような発現頻度の低さから考え非処方薬として複合ホルモン避妊を提供してもよいのではないかと思われる。

Medical contraindications in women seeking combined hormonal contraception

Hanna Xu, David L. Eisenberg, Tessa Madden, Gina M. Secura, Jeffrey F. Peipert

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):210.e1-210.e5

【文献番号】 r12200 (避妊、経口避妊薬、妊娠中絶、IUD、IUS、人口問題、リスク因子、スクリーニング)

HPVワクチン、接種率、褥婦、若年成人女性8

テキサス州の南東部において妊婦検診を受けた若年成人女性においてHPVワクチンの接種率はきわめて低値にとどまった。もし、分娩後に無料でワクチンの接種を行うということになれば、接種率を高める上で有効な戦略となり、6人あたり5人の女性がワクチンを受けることになるという調査結果が得られた。

Assessing the need for and acceptability of a free-of-charge postpartum HPV vaccination program

Abbey B. Berenson, Eneida Male, Toy G. Lee, Alan Barrett, Kwabena O. Sarpong, Richard E. Rupp, Mahbubur Rahman

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):213.e1-213.e7

【文献番号】 g02400 (子宮頸部上皮内病変、ワクチン、スクリーニング)

チョコレート嚢胞、保存的手術、子宮内膜症、再発率、二次的手術療法 10

2 回の手術を受けた後のチョコレート嚢胞の累積再発率は追跡期間の長さとは相関し、2 回目の手術の際の子宮内膜症の重症度は再発のリスクと相関した。医師はこれらのリスクの高い患者の術後管理に注意を払う必要がある。

Recurrence of ovarian endometrioma after second-line, conservative, laparoscopic cyst enucleation

Mi-La Kim, Joo Myoung Kim, Seok Ju Seong, Soo Yoon Lee, Myoungseok Han, Yeon Jean Cho

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):216.e1-216.e6

【文献番号】 r11200 (子宮内膜症、診断、治療、病態、チョコレート嚢胞、合併症)

腎盂腎炎、妊娠、産科的合併症、早産 11

妊婦検診の際に無症候性の細菌尿をルーチンにスクリーニングを実施している大規模なヘルスケアシステムに属する病院において、腎盂腎炎を有している妊婦には母体合併症のリスクの割合は上昇し早産率も上昇するという結果が得られた。

Acute pyelonephritis in pregnancy: an 18-year retrospective analysis

Deborah Ann Wing, Michael John Fassett, Darios Getahun

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):219.e1-219.e6

【文献番号】 o03800 (妊娠合併症、内分泌疾患、偶発疾患、悪性腫瘍、血栓症、薬剤、STD)

早産、頸管、リモデリング、頸管細胞、microRNA 13

頸管細胞における microRNA のプロファイルを基に、早産のリスクの高い女性を早産に至る数か月前に識別することができる可能性が示唆された。遺伝子の発現における microRNA の大きな下流効果を考慮した場合、今回の研究は早期の頸管のリモデリングに関わる過程を理解する上で有用で、新しい治療の標的を特定することも出来るのではないと思われる。

Distinct cervical microRNA profiles are present in women destined to have a preterm birth

Michal A. Elovitz, Amy G. Brown, Lauren Anton, Marisa Gilstrop, Laura Heiser, Jamie Bastek

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):221.e1-221.e11

【文献番号】 o01300 (早産、切迫早産、子宮収縮抑制、診断、治療、リスク因子、モニタリング、ACS、ステロイド)

緊急帝王切開、胎児心拍異常、緊急帝王切開迅速度 15

胎児心拍異常のために緊急帝王切開が必要となった患者において、意思決定から分娩までの時間を短縮するようなプログラムを導入したところ、早期の新生児合併症などのリスクに改善が認められたが、母体合併症には差異は認められなかった。

The effect of a program to shorten the decision-to-delivery interval for emergent cesarean section on maternal and neonatal outcome

Eran Weiner, Jacob Bar, Nataly Fainstein, Avi Ben-Haroush, Oscar Sadan, Abraham Golan, Michal Kovo

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):224.e1-224.e6

【文献番号】 o06400 (帝王切開、合併症、VBAC、試験分娩、リスク因子、子宮破裂、子宮摘出)

早産、細菌性膣症、生殖管感染症、膣細菌叢 17

細菌性膣症は乳酸桿菌と乳酸を産生する細菌の減少および Mobiluncus が関わっているものであるが、このような要因と Mycoplasma の存在が早産のリスクの上昇と相関するという結果が得られた。対照的に細菌性膣症を引き起こすと考えられている BVAB-3 (bacterial vaginosis-associated bacteria-3) の存在は早産のリスクを低下させるといった結果が得られた。このような知見はなぜ細菌性膣症を治療したとしても早産に対し一定の有用性が得られないかということの説明する理由にもなるのではないと思われる。

Mycoplasma, bacterial vaginosis-associated bacteria BVAB3, race, and risk of preterm birth in a high-risk cohort

Betsy Foxman, Ai Wen, Usha Srinivasan, Deborah Goldberg, Carl F. Marrs, John Owen, Deborah A. Wing, Dawn Misra

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):226.e1-226.e7

【文献番号】 o01700 (妊娠、細菌性膣症、クラミジア、ヘルペス、ウイルス感染、GBS、HIV、感染症、MRSA)

分娩後出血、再発、疫学調査、胎盤遺残、子宮弛緩18

分娩後出血のリスクは複数の分娩後出血の既往歴のある女性や重度の分娩後出血の既往歴のある女性において最も高い値を示した。分娩後出血のリスク因子として知られている慢性疾患からこの再発のリスクを説明することはできなかった。分娩後出血のサブタイプを考慮し再発のパターンを調べたところ、いろいろな分娩後出血の原因に共通する病理学的メカニズムが存在するのではないかと考えられた。

Patterns of recurrence of postpartum hemorrhage in a large population-based cohort
Anna Sara Oberg, Sonia Hernandez-Diaz, Kristin Palmsten, Catarina Almqvist, Brian T. Bateman
Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):229.e1-229.e8

【文献番号】 o05200 (産科ショック、子宮復古不全、分娩後出血、貧血、子宮動脈塞栓術、止血法)

喫煙、cotinine、妊娠、受動喫煙、妊娠高血圧、子癇前症20

喫煙の既往歴のあるもの、あるいは受動喫煙に被ばくしたものにおいては子癇前症のリスクは上昇する可能性がある。妊娠中は環境中に存在するタバコの煙への被ばくを回避することが子癇前症のリスクの低下をもたらす可能性がある。

Plasma cotinine indicates an increased risk of preeclampsia in previous and passive smokers
Zhong-Cheng Luo, Pierre Julien, Shu-Qin Wei, Francois Audibert, Graeme N. Smith, William D. Fraser, MIROS study group
Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):232.e1-232.e5

【文献番号】 o12221 (妊娠合併症、歯周病、生活習慣、嗜好品、薬剤、環境汚染、薬物中毒、HIV、ワクチン)

胎盤、子癇前症、早産、正常産、胎盤所見21

妊娠第3三半期の4つのサブグループにおける胎盤の病理学的所見の差異は早産と正常産を区分する37週というカットオフに使用されるだけでなく、後期早産と早産を区分する上で、また正常産と近正常産を区分する上で有用であるという結果が得られた。

胎盤の病理学的所見に基づいた場合、慢性子宮胎盤還流異常は妊娠第3三半期中期の後期早産や近正常産における病因となる病理学的要因で、急性胎児仮死は正常産における要因と考えられる。このような結果は妊娠第3三半期における周産期死亡の相対度数や管理法を混乱させることになっている。

Comparison of placental pathology in preterm, late-preterm, near-term, and term births
Jerzy Stanek
Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):234.e1-234.e6

【文献番号】 o04200 (前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、臍帯異常、胎盤機能不全、前値血管)

Tdap、ワクチン接種、産褥期、規則的接種、選択的接種22

産褥期にTdapのワクチンを投与することを規則で定めたところ、分娩後にTdapのワクチンを接種するものは有意に上昇した。医師の選択によって接種したところ接種率は上昇したが、規則に従い接種することとした場合にはさらに上昇した。

Effectiveness of hospital-based postpartum procedures on pertussis vaccination among postpartum women
Sylvia Yeh, ChrisAnna Mink, Matthew Kim, Scott Naylor, Kenneth M. Zangwill, Norma J. Allred
Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):237.e1-237.e6

【文献番号】 o12200 (免疫、感染、生体防御、ワクチン)

癒着胎盤、リスク因子、非計画的分娩、腔出血24

癒着胎盤が疑われた患者において、妊娠中に腔出血が認められたものでは非計画的分娩に至る割合が上昇し、PPROMや子宮収縮を認めた患者においてさらに上昇した。癒着胎盤が疑われた患者において、適切な分娩週数を決定する際にはこれらの臨床的要因を考慮する必要がある。

Risk factors for unscheduled delivery in patients with placenta accreta
Zachary S. Bowman, Tracy A. Manuck, Alexandra G. Eller, Marilee Simons, Robert M. Silver
Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):241.e1-241.e6

【文献番号】 o04200 (前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、臍帯異常、胎盤機能不全、前値血管)

閉経、運動、omega-3、QOL、無作為対照試験、ヨガ27

血管運動神経症状をみた更年期および閉経後の女性の多くはQOLを改善するために医学的なアドバイスを求めたが、根拠に基づいた非ホルモン療法に関する情報は殆ど認められなかった。健康な座りがちな閉経後の女性においてヨガは閉経後のQOLの改善を促すのではないと思われる。また、我々の今回の知見においてそれらの影響が少なかったため臨床的意義は不明であった。

Menopausal quality of life: RCT of yoga, exercise, and omega-3 supplements

Susan D. Reed, Katherine A. Guthrie, Katherine M. Newton, Garnet L. Anderson, Cathryn Booth-LaForce, Bette Caan, Janet S. Carpenter, Lee S. Cohen, Andrea L. Dunn, Kristine E. Ensrud, Ellen W. Freeman, Julie R. Hunt, Hadine Joffe, Joseph C. Larson, Lee A. Learman, Robin Rothenberg, Rebecca A. Seguin, Karen J. Sherman, Barbara S. Sternfeld, Andrea Z. LaCroix
Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):244.e1-244.e11

【文献番号】 r12300 (ホルモン補充療法、更年期、骨粗鬆症、性機能、代替療法、男性若返り療法、アンチエイジング)

leptin、生殖機能、妊孕性30

leptin レベルと生殖機能との相関を調べたところ、血中leptin は妊孕性の亢進と相関がある可能性が示唆された。

Serum leptin levels and reproductive function during the menstrual cycle

Katherine Ahrens, Sunni L. Mumford, Karen C. Schliep, Kerri A. Kissell, Neil J. Perkins, Jean Wactawski-Wende, Enrique F. Schisterman

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):248.e1-248.e9

【文献番号】 r12600 (生殖医学、内分泌学、基礎的研究)

卵管留水腫、IVF、周産期臨床結果、妊娠、臨床経過、硬化療法33

卵管留水腫を有する女性に超音波ガイド下でエタノールを用い硬化療法を試みたところ子宮弓状動脈の血流が改善し、IVF における胚移植の成績に改善が認められた。超音波ガイド下の硬化療法は周産期の臨床結果にはネガティブな影響は与えなかった。

Pregnancy and perinatal outcomes of interventional ultrasound sclerotherapy with 98% ethanol on women with hydrosalpinx before in vitro fertilization and embryo transfer

Wen-xiang Zhang, Hong Jiang, Xue-mei Wang, Li Wang

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):250.e1-250.e5

【文献番号】 r04200 (ART、妊娠、出産、合併症、流産、早産、子宮外妊娠、リスク因子、卵管留水腫)

アポトーシス、細胞毒性、cis-platinum、顆粒膜黄体細胞、早発卵巣不全、ステロイド産生34

cis-platinum を作用させたところ、ヒト顆粒膜黄体細胞のアポトーシスを引き起こしステロイド産生の障害が認められたが、このような変化が cis-platinum を含むレジメによって早発卵巣不全を引き起こすメカニズムの一つに関わっているものと思われる。

Impaired steroidogenesis and apoptosis of granulosa-luteal cells in primary culture induced by cis-platinum

Ratna Chatterjee, Mohammed Helal, Margaret Mobberley, Timothy Ryder, Rekha Bajoria

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):252.e1-252.e7

【文献番号】 r08400 (妊孕性、悪性腫瘍、女性不妊)

子宮内膜癌、子宮内膜増殖症、妊孕性温存処置、プロゲスチン療法36

複雑型異型子宮内膜増殖症あるいはgrade1 子宮内膜癌を有する患者に対する progestin 療法による妊孕性温存処置は妥当な方法で、妊孕性温存を望む若い女性において妥当な妊娠率が期待できる。

Reproductive and oncologic outcomes after progestin therapy for endometrial complex atypical hyperplasia or carcinoma

Rashmi Kudesia, Tomer Singer, Thomas A. Caputo, Kevin Michael Holcomb, Isaac Kligman, Zev Rosenwaks, Divya Gupta

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):255.e1-255.e4

【文献番号】 r08400 (妊孕性、悪性腫瘍、女性不妊)

卵巣癌、スクリーニング、意識調査、不安、受容度37

卵巣癌のスクリーニングを受ける標準的な女性は卵巣癌のリスクを過剰評価していたがこのような調査結果にもかかわらず、癌に関する不安や苦痛のレベルは低いという結果であった。卵巣癌のリスクに関する知識と態度が乖離していることを考えると、教育が必要であるということが示唆される。

Risk perception, worry, and test acceptance in average-risk women who undergo ovarian cancer screening

Laura L. Holman, Karen H. Lu, Robert C. Bast, Mary A. Hernandez, Diane C. Bodurka, Steven Skates, Charlotte C. Sun

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):257.e1-257.e6

【文献番号】 g09300 (婦人科腫瘍、家族性腫瘍、癌遺伝子、遺伝カウンセリング、予防的摘出手術、スクリーニング)

腫瘍縮小手術、腹腔内温熱化学療法、腹腔内肉腫症、子宮肉腫.....39

再発性の高悪性度の子宮肉腫の腹腔内播種を認める一部の患者の治療法として腫瘍縮小手術と腹腔内温熱化学療法は期待できる治療法であるが、さらに研究を進める必要がある。

Cytoreductive surgery and hyperthermic intraperitoneal chemotherapy in the management of recurrent high-grade uterine sarcoma with peritoneal dissemination

William A. Jimenez, Armando Sardi, Carol Nieroda, Vadim Gushchin

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):259.e1-259.e8

【文献番号】 g02600 (子宮内膜癌、子宮体部腫瘍、子宮内膜増殖症、子宮肉腫、子宮内膜過形成)

弓状子宮、ミューラ管異常、中隔子宮、3次元超音波検査、子宮形態39

子宮中隔あるいは弓状子宮と診断された患者において術後の子宮腔の状態を調べたところ子宮腔に明らかな差異が認められた。手術による中隔の是正後に妊娠率の向上を説明する上で、術後の子宮腔の変化が妊娠の予後の改善と関わる要因と思われる。

Ultrasound assessment of uterine cavity remodeling after surgical correction of subseptations

Laura Detti

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):262.e1-262.e6

【文献番号】 r10600 (手術、術後癒着、不妊、性器奇形、低侵襲性手術、ロボット手術)

子宮頸癌スクリーニング、ガイドライン、順守率、腔細胞診42

ケア提供者の大部分は頸癌のスクリーニングの開始時期および中止時期は 2012 年のガイドラインに従っていた。しかし、大部分のケア提供者は 21 ~ 65 歳の患者に対する現在推奨されている頻度よりも多い頻度でスクリーニングを実施していた。

Current practice patterns in cervical cancer screening in Indiana

Nicole R. King, Kelly M. Kasper, Joanne K. Daggy, Brownsyne Tucker Edmonds

Am J Obstet Gynecol.2014 Mar;210(3):265.e1-265.e8

【文献番号】 g02800 (細胞診、コルポスコプ、スクリーニング、パピローマウイルス、LEEP、円錐切除、生検)